

各モデル地区の進捗一覧(抜粋)

| | | 鳴子ダム | 天ヶ瀬ダム | 来島海峡大橋 | 鶴田ダム | ハツ場ダム |
|------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 現地協議会 | 組織 | 鳴子ダム水源地域ビジョン幹事会 | 天ヶ瀬ダムを観光資源に含めた宇治市地域の観光発展検討会 | 環瀬戸内海地域交流促進協議会 | 川内川水系かわまちづくり観光振興部会 | チームやんば |
| | 団体 | NARU-GO！再生プロジェクト | 京都京阪バス(株)、宇治観光ボランティアガイドクラブ、(独)水資源機構、関西電力(株) | 今治市、(一社)愛媛県観光物産協会、(公社)今治地方観光協会、(一社)尾道観光協会、(一社)しまなみジャパン、(株)しまなみ | (株)薩摩川内市観光物産協会、NPO法人ひつりつべ！奥さつま探検隊、NPO法人バイオマスワークあつたらし会、NPO法人水と地球 | |
| 事業方針(案) | 概要 | 鳴子ダム魅力増進・通年化プロジェクト ・四季折々の美しさの見せ方 | 天ヶ瀬ダムをコアにした「お茶の京都」魅力発信プロジェクト ・有名観光地からの外国人観光客の誘致 | しまなみ海道魅力拡大プロジェクト ・橋の見せ方・体験プログラム | さつま観光未来プロジェクト ・インフラツーリズムの可能性の拡大 | |
| | 目標 | ・鳴子ダム観光の通年化 | ・京都市内からの観光客誘致数の増加 ・滞在時間の増加 | ・高単価な見学ツアーの設定 | ・多様なインフラ見学ツアーの構築 | |
| ツアー設定(案) | インフラ施設 | ◆見学プログラムの通年化 ①すだれ放流の通年実施 ②夏・秋・冬の見学ツアー ③鳴子ダムの歴史学習ツアー | ◆インフラ施設・産業遺産 ①天ヶ瀬ダム見学ツアーの魅力向上 ②同水系支流ダム見学と組み合わせたツアー ③発電施設と組み合わせた見学ツアー | ◆塔頂体験の商品化 ①個人で随時予約できる定時出発ツアー ②日時を限定した少人数・高付加価値ツアー ③フォトウェディングなど貸切塔頂プラン | ◆団体向けツアー ①小中学生向け教育旅行 ②バリアフリー対応見学ツアー ③旅行会社とのタイアップツアー ④テクニカルビジットツアー ⑤ダムマニア満足ツアー ⑥焼酎貯蔵記念体験 | ○令和元年9月にやんばツアーズによるツアー実施が終了。10月以降、地元主体でのツアー実施へ移行。 |
| | 周辺地域連携 | ◆周辺地域の観光資源との連携 ①温泉宿泊とダム見学組み合わせツアー ②ライトアップと組み合わせたイベント実施 ③発電施設と組み合わせた見学ツアー ④上流のダムから河口(石巻)をつなぐツアー | ◆周辺地域の観光資源との連携 ①宇治地域宿泊とダム見学を組み合わせたツアー ②世界遺産・日本遺産と連携したツアー ③宇治川でのEポート(大型カヌー)の特別運行 | ◆周辺地域の観光資源との連携 ①村上海賊と連携したツアー ②しまなみ海道サイクリスト向けスタンプラリー ③橋を多様な場所・時間から眺めるツアー ④富裕層向け特別プラン | ◆個人向けツアー ①温泉宿泊とダム見学組み合わせツアー ②個人客1名から受け入れの高満足ツアー ③鶴田ダム大鶴湖遊覧船の期間限定運行 ④観光(点検)放流の実施 ⑤発電施設と組み合わせた見学ツアー | ○地元主体での自走に向け、現地においてアンケートやファムツアーを実施。 |
| 第1回協議会要旨 | 意見要旨 | ・紅葉時期以外の魅力の発信が課題 ・案内できるガイドが少ない | ・既存のツアー(団体)は最少催行人員に達せず中止が発生 ・宇治の売りは「お茶」「寺院」 ・宇治市で観光振興アクションプラン作成 | ・塔頂にはガイド、保安要員が必要 ・塔頂用のエレベーターは定員が少ない ・馬島へは自転車や定期船、観潮船など複数アクセス可 | ・顧客価値の追加や周辺観光資源との連携が必要 ・点検放流を、風物詩としてアピール ・ダム湖面から旧曾木発電所遺構へ行くツアーを検討中 | ※地域自治体・事業者を対象としたヒアリング ・観光客受け入れに対する意識の差 ・外国人対応のための財源確保の問題、ハード整備の施設間格差 |
| | 事業方針への反映 | ・通年でどのように見せるか ・「水」をテーマにしたツアー設定 | ・宇治市の取組との連携 ・「ダム」「お茶」「寺院」をテーマにしたツアー設定 | ・地元や民間との連携によるガイド・保安要員の確保 ・各アクセス手段によるツアーの設定 | ・顧客価値と、周辺観光資源との連携を意識した商品企画 ・遺構や点検放流をセットにしたツアー設定 | ※訪日外国人を対象としたアンケート調査 |
| ファムツアー意見集約 | 評価点 | ・災害、震災時の話は興味を引く ・日本の歴史文化は外国人の興味を引く ・地域の人との交流は魅力的 | ・キャットウォークはエキサイティング ・食事がベジタリアン等にも向いている ・お茶の体験が気軽に体験できるのが良い | ・橋の塔頂は特別感がある ・地元の人の生活を見るのは面白い | ・ダム内部の見学は貴重な体験 ・ダム放流イベントのマルシェは楽しかった ・サムライツーリズムは子供たちとの交流もあり良かった | ・ハツ場ダムの認知度・情報不足が明確 ・ターゲット国に合った戦略が必要 |
| | 課題・改善点 | ・インクラインの乗車定員が少ない ・夜の観光としての活用があれば宿泊増に寄与 | ・天ヶ瀬ダムが宇治を支えているストーリーが欲しい ・アクティビティがあると良い ・京都と比べてPR不足 | ・橋の技術について説明がほしい ・橋の説明は専門性があり、わかりやすく説明できるネイティブのガイドが必要 | ・ダムの仕事解説や英文パンフがほしい ・アクティビティと組み合わせた幅広いプランがあると良い | |
| 検討課題(今後の) | | ・「水」をテーマとした観光資源とダムのストーリーの検討 ・災害対応にポイントを置いた見学 ・夜の見学プログラム | ・個人向けツアーの設定・販売 ・旧志津川発電所の整備および活用の検討 ・観光資源の選定とダムを組み合わせたストーリーの策定 | ・塔頂体験ガイドの確保(候補者の抽出) ・4月以降に社会実験として行う塔頂体験 ・地元での運営体の合意形成に向けた調整 | ・防災、治水をテーマとした見学ルート、ガイドシナリオ ・点検放流を季節イベントとして定着、拡充 ・地域NPOの既存メニューとの連携の検討 | |